



前川耀男区長 第二回区議会定例会記者会見 子どもたちの笑顔輝くまちへ

と き 6月21日(金) 午後2時30分~3時

と ころ 練馬区役所(練馬区豊玉北6-12-1)

21日、前川耀男(まえかわあきお)練馬区長が令和元年第二回練馬区議会定例会にあたって記者会見を行った。

これまでの区政運営においても常に重要政策のトップに掲げ、推進してきた子ども・子育て支援施策について、保育所待機児童対策の状況や、全国で初めて実施した、民間カフェとの協働による「練馬こどもカフェ」などを説明した。

前川区長は、練馬こどもカフェに参加した保護者の感想を紹介しながら「大都市での子育ての課題は孤独。これを和らげるように工夫をしていきたい。」と述べた。



【記者会見を行う前川区長】

【保育所待機児童対策】

- ・都内2番目の人口規模(約73万人)を有する本区の待機児童は、過去最低の14人となった。
- ・区全体では、保育定員が保育需要を大きく上回り、3年続けて1,000人規模で推移している。
- ・10月からスタートする幼児教育無償化による保育需要の増加にも、既に対策を講じている。

【対策1】定員拡大の努力

保育所・練馬こども園の定員を、計画を上回る918人拡大(平成31年4月実施済)

【対策2】保育所の整備等

私立認可16か所・630人の定員拡大(令和2年4月に向けて)

【対策3】練馬こども園の充実

保育時間を9時間以上とする短時間型、3歳未満児の保育を開始(令和2年4月に向けて)

【練馬こどもカフェ】

身近なカフェで、リラックスしながら保護者同士が交流したり、子どもと一緒に楽しめる場の提供を開始した。

参加した保護者からは、「子どもと気兼ねなくカフェに入ることができてリラックスできた」「子どもと2人だけの時間が長くなりがちなのでリフレッシュできた」「いつもと違う場所に行けて気分転換になった」などの感想が聞かれた。



【練馬こどもカフェ初開催の様子】